

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エフ・シー・シー

コード番号 7296 URL <http://www.fcc-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 住田 四郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業管理統括 (氏名) 山田 明彦

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 053-523-2400

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	68,715	△30.9	2,983	△67.8	3,253	△66.2	882	△84.3
21年3月期第3四半期	99,395	—	9,263	—	9,633	—	5,622	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	17.20	—
21年3月期第3四半期	107.17	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	89,919	70,907	72.7	1,302.45
21年3月期	93,560	73,124	71.4	1,292.91

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 65,368百万円 21年3月期 66,765百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
22年3月期	—	13.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	△20.8	5,000	△38.1	5,600	△28.8	2,100	△45.9	41.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	52,644,030株	21年3月期	52,644,030株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	2,454,695株	21年3月期	1,004,209株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	51,302,101株	21年3月期第3四半期	52,464,799株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年10月26日に公表いたしました連結業績予想は、平成22年1月29日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」とおり修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記1.に係る業績予想の修正内容につきましては、4ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は68,715百万円（前年同期比30.9%減）、営業利益は2,983百万円（前年同期比67.8%減）、経常利益は3,253百万円（前年同期比66.2%減）、四半期純利益は882百万円（前年同期比84.3%減）となりました。

事業部門別の業績は次のとおりであります。

（二輪車用クラッチ部門）

世界的にも深刻な景気後退による二輪車需要の減少及び為替換算による影響等により、二輪車用クラッチ部門の売上高は35,545百万円（前年同期比34.0%減）、営業利益は3,259百万円（前年同期比58.4%減）となりました。

（四輪車用クラッチ部門）

フォード向け及び中国における四輪車用クラッチ販売は順調に増加いたしました。主要顧客の日本・米国における減産及び為替換算による影響等により、四輪車用クラッチ部門の売上高は30,096百万円（前年同期比22.4%減）、62百万円の営業損失（前年同期は1,198百万円の営業利益）となりました。

（その他の部門）

主に北米におけるATV（パギー車）需要の低迷及び為替換算による影響等により、その他の部門の売上高は3,073百万円（前年同期比54.4%減）、212百万円の営業損失（前年同期は234百万円の営業利益）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

（日本）

四輪車需要、輸出用の大型二輪車用クラッチ販売及びATV用クラッチ販売の減少により、売上高は19,110百万円（前年同期比37.2%減）、777百万円の営業損失（前年同期は1,306百万円の営業利益）となりました。

（北米）

フォード向け四輪車用クラッチ販売は大幅に増加いたしました。深刻な景気後退に伴う四輪車販売の減少、ATV需要の減少及び為替換算による影響等により、売上高は14,188百万円（前年同期比23.7%減）、営業利益は610百万円（前年同期比18.2%減）となりました。

（アジア）

中国における四輪車用クラッチ販売は増加したものの、一部地域を除き世界的な景気後退による二輪車需要の減少及び為替換算による影響等により、売上高は31,450百万円（前年同期比27.5%減）、営業利益は2,334百万円（前年同期比58.0%減）となりました。

（その他の地域）

ブラジル、英国における二輪車需要の減少及び為替換算による影響等により、売上高は3,966百万円（前年同期比43.4%減）、営業利益は317百万円（前年同期比72.8%減）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は89,919百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,641百万円減少いたしました。流動資産は40,095百万円となり、1,820百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が2,857百万円増加したものの、現金及び預金が4,090百万円、たな卸資産が841百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定資産は49,824百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,820百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が時価評価等により1,600百万円増加したものの、有形固定資産が2,647百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期末の負債合計は19,012百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,423百万円減少いたしました。流動負債は14,234百万円となり、1,876百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1,158百万円増加したものの未払法人税等が1,242百万円、賞与引当金が531百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定負債は4,777百万円となり、452百万円増加いたしました。

当第3四半期末の純資産は70,907百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,217百万円減少いたしました。これはその他有価証券評価差額金が851百万円、為替換算調整勘定が651百万円それぞれ増加したものの、自己株式の増加2,284百万円に加え、利益剰余金が615百万円、少数株主持分が820百万円それぞれ減少したことによるものであります。

[キャッシュ・フローの状況]

当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は10,816百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,838百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は4,788百万円となりました。

主なプラス要因は、減価償却費5,608百万円、税金等調整前四半期純利益2,891百万円、たな卸資産の減少額1,170百万円等であります。

主なマイナス要因は、売上債権の増加額2,595百万円、法人税等の支払額2,225百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は3,538百万円となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出3,580百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は5,254百万円となりました。

主な要因は、自己株式の取得による支出2,284百万円及び配当金の支払額2,959百万円（内、少数株主への配当金の支払額1,488百万円を含む。）によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、米ドルにおける円高の影響等が懸念されますが、インドネシア等における二輪車用クラッチ販売が計画を上回って推移したことに加え、日本、中国における四輪車用クラッチ販売も堅調に推移することが見込まれるため、平成21年10月26日に公表いたしました連結業績予想を下記のとおり修正しております。

(連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	94,000	3,500	3,700	700	13.56
今回修正予想 (B)	96,000	5,000	5,600	2,100	41.15
増減額 (B-A)	2,000	1,500	1,900	1,400	
増減率 (%)	2.1	42.9	51.4	200.0	
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	121,279	8,077	7,867	3,882	74.30

※ 主要通貨の第3四半期連結累計期間実績、第4四半期連結会計期間及び通期の想定為替レートは以下のとおりです。

	第3四半期連結 累計期間実績レート	第4四半期連結 会計期間想定レート	通期想定レート
	円	円	円
1米ドル	93.57	90.00	92.68
1タイバーツ	2.74	2.70	2.73
1インドネシアルピア	0.0090	0.0095	0.0091

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,333	15,424
受取手形及び売掛金	13,935	11,078
商品及び製品	1,690	1,813
仕掛品	2,853	1,985
原材料及び貯蔵品	6,209	7,797
その他	4,078	3,825
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	40,095	41,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,375	22,089
減価償却累計額	△9,748	△9,007
建物及び構築物（純額）	12,626	13,082
機械装置及び運搬具	59,067	56,769
減価償却累計額	△41,357	△38,067
機械装置及び運搬具（純額）	17,709	18,701
工具、器具及び備品	10,634	10,143
減価償却累計額	△8,789	△8,165
工具、器具及び備品（純額）	1,845	1,977
土地	7,128	7,023
建設仮勘定	1,412	2,584
有形固定資産合計	40,722	43,369
無形固定資産		
のれん	61	122
その他	562	617
無形固定資産合計	623	740
投資その他の資産		
投資有価証券	6,599	4,998
その他	1,932	2,589
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	8,479	7,535
固定資産合計	49,824	51,645
資産合計	89,919	93,560

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,858	5,699
ファクタリング債務	1,772	1,887
短期借入金	924	937
未払法人税等	1,577	2,820
賞与引当金	611	1,143
事業整理損失引当金	245	—
その他	2,243	3,621
流動負債合計	14,234	16,111
固定負債		
長期借入金	493	571
退職給付引当金	1,306	1,282
役員退職慰労引当金	11	465
その他	2,966	2,005
固定負債合計	4,777	4,325
負債合計	19,012	20,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,175	4,175
資本剰余金	4,566	4,566
利益剰余金	65,095	65,710
自己株式	△3,406	△1,122
株主資本合計	70,430	73,330
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,793	1,941
為替換算調整勘定	△7,854	△8,506
評価・換算差額等合計	△5,061	△6,564
少数株主持分	5,538	6,359
純資産合計	70,907	73,124
負債純資産合計	89,919	93,560

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	99,395	68,715
売上原価	80,951	58,945
売上総利益	18,443	9,770
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	1,355	820
給料及び手当	2,091	1,801
賞与引当金繰入額	140	97
退職給付費用	174	174
役員退職慰労引当金繰入額	58	10
減価償却費	179	165
研究開発費	2,552	2,074
その他	2,628	1,642
販売費及び一般管理費合計	9,180	6,786
営業利益	9,263	2,983
営業外収益		
受取利息	357	102
受取配当金	129	53
持分法による投資利益	85	116
その他	232	217
営業外収益合計	804	490
営業外費用		
支払利息	105	41
為替差損	292	149
その他	36	30
営業外費用合計	433	220
経常利益	9,633	3,253
特別利益		
前期損益修正益	64	31
固定資産売却益	437	12
補助金収入	—	40
その他	0	—
特別利益合計	502	84
特別損失		
固定資産除売却損	167	103
事業整理損失引当金繰入額	—	245
災害による損失	—	97
その他	2	0
特別損失合計	169	447
税金等調整前四半期純利益	9,966	2,891
法人税等	3,305	1,528
少数株主利益	1,038	479
四半期純利益	5,622	882



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,966	2,891
減価償却費	5,998	5,608
のれん償却額	61	54
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△615	△531
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△26	20
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	35	△454
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	245
受取利息及び受取配当金	△486	△155
支払利息	105	41
為替差損益 (△は益)	40	△6
持分法による投資損益 (△は益)	△85	△116
前期損益修正損益 (△は益)	△64	△31
固定資産除売却損益 (△は益)	△270	90
災害損失	—	97
補助金収入	—	△40
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,102	△2,595
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,252	1,170
その他の資産の増減額 (△は増加)	126	△172
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,159	1,032
ファクタリング債務の増減額 (△は減少)	△359	7
その他の負債の増減額 (△は減少)	492	△758
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△93	403
小計	13,631	6,799
利息及び配当金の受取額	248	259
利息の支払額	△105	△41
災害損失の支払額	—	△59
その他	181	54
法人税等の支払額	△4,450	△2,225
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,506	4,788

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△667	△1,657
定期預金の払戻による収入	1,413	1,926
有形固定資産の取得による支出	△8,106	△3,580
有形固定資産の売却による収入	515	37
無形固定資産の取得による支出	△50	△5
投資有価証券の取得による支出	△35	△21
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△43	726
貸付けによる支出	△303	△1,334
貸付金の回収による収入	178	329
その他	△10	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,108	△3,538
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△417	85
長期借入金の返済による支出	△48	△96
自己株式の取得による支出	△1,115	△2,284
配当金の支払額	△1,493	△1,470
少数株主への配当金の支払額	△985	△1,488
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,060	△5,254
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,439	165
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,102	△3,838
現金及び現金同等物の期首残高	19,927	14,654
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,824	10,816

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

当社グループは、二輪車・四輪車及び汎用機用クラッチの製造販売を主な事業としております。セグメントの売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	30,436	18,583	43,363	7,012	99,395	—	99,395
(2) セグメント間の内部売上高	11,289	984	1,775	674	14,723	(14,723)	—
計	41,726	19,567	45,138	7,687	114,119	(14,723)	99,395
営業利益	1,306	746	5,556	1,168	8,777	485	9,263

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	19,110	14,188	31,450	3,966	68,715	—	68,715
(2) セグメント間の内部売上高	8,402	531	753	88	9,776	(9,776)	—
計	27,513	14,719	32,203	4,055	78,492	(9,776)	68,715
営業利益又は営業損失 (△)	△777	610	2,334	317	2,485	498	2,983

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 日本以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米……………米国

(2) アジア……………タイ、フィリピン、中国、インド、インドネシア、台湾、ベトナム

(3) その他の地域……………ブラジル、英国

3. 会計方針の変更

前第3四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方によった場合と比べて第3四半期連結累計期間の営業利益は、日本で178百万円減少しております。

#### 4. 追加情報

##### 前第3四半期連結累計期間

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正を契機として見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より、機械装置の耐用年数を変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比べて、第3四半期連結累計期間の営業利益は、日本で119百万円減少しております。

##### [海外売上高]

##### 前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	21,341	43,402	7,592	72,336
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	99,395
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	21.5	43.7	7.6	72.8

##### 当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	15,741	31,498	4,504	51,745
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	68,715
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	22.9	45.8	6.6	75.3

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米……………米国

(2) アジア……………タイ、フィリピン、中国、インド、インドネシア、台湾、ベトナム

(3) その他の地域……ブラジル、英国、イタリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 6. その他の情報

該当事項はありません。